

## 「電気デジタル博物館」を本格公開

### — 日本の電気電子・情報関連卓越技術データベース(DB-JET) —

電気電子・情報関連の 5 学会と国立情報学研究所（所長：坂内正夫（さかうち まさお）以下、NII）は、中学生から専門家に向けて、日本の電気電子・情報分野で日本が誇る卓越した技術をデータベース化し、日本の電気電子・情報関連卓越技術データベース（DB-JET）—愛称「電気デジタル博物館」—(<http://www.dbjet.jp/> 以下、本 DB)として、3月26日に本格公開しました。

本 DB は、第二次大戦後の日本の復興を支えた技術、特に 1980 年代及びその前後の日本技術の世界的高揚期を中心とした技術を中心としてデータベース化したもので、インターネットを通して誰でも利用できます。

#### （背景）

現代社会にとって、科学技術はたいへん重要なものになっており、科学技術を理解し使いこなすことが、よりゆたかな社会の実現のために必要です。しかし一般の関心は高くなく、中でも若者の科学技術離れは深刻な問題になっています。

このような問題への一助とするため、本 DB は、一般の方、特に中学生や高校生も興味を持てるように、分かりやすく工夫されています。

#### （概要）

電気電子・情報関連の 5 学会※と NII は 2003 年度(平成 15 年度)以来、科学研究費補助金の支援を得て、関連分野の技術コンテンツの収集とインターネットを通しての提示方法の研究開発を、共同で行ってきました。

対象としたコンテンツは、第二次大戦後の我が国の復興を支えた電気電子・情報関連技術のうち、特に 1980 年代及びその前後の、我が国の技術が世界的に高揚した時期が中心です。それぞれの技術について、内容の技術的説明、写真や図面、文献などの関連情報を約 4,000 件収集し、それを約 600 件の技術コンテンツとして編集しました。

それぞれの技術コンテンツは入門向けと専門向けを一对とし、入門向けのコンテンツは、中学高校レベルの若者であっても興味を持てるような表現になっています。さらに詳細を知りたい場合には、ワンクリックで専門向けの説明を見ることができます。

ウェブ・サイトのエントランス画面（ホームページ）も、入門向けと専門向けの両方を用意しました。入門向けエントランスでは、家庭での電気電子・情報関連技術の活用画面から視覚的に個々の技術コンテンツに利用者を導くように工夫し、専門向けエントランスでは、技術コンテンツを総覧できる年表形式の画面から、個々の技術コンテンツを選択して表示できます。求める技術コンテンツを容易に探し出せるように、検索方式も工夫されています。

(今後)

以上のような工夫により、専門家が専門技術を知ることには役立つことはもちろんのこと、中学校や高校の理数系の授業の一環で生徒に科学技術の興味を持たせるために使う、家庭の中で親子で科学技術について対話するなど、本 DB が幅広く利用されることが期待されます。

5 学会と NII では来年度以降、コンテンツのいっそうの拡充と、今回は一部分にとどまっている英語化を促進することとしています。

※

(社)映像情報メディア学会	矢野 薫 (やの かおる) 会長
(社)情報処理学会	佐々木 元 (ささき はじめ) 会長
(社)照明学会	今井 清輔 (いまい きよすけ) 会長
(社)電気学会	仁田 旦三 (にった たんぞう) 会長
(社)電子情報通信学会	富永 英義 (とみなが ひでよし) 会長

#### ■ 報道発表に関する問合せ

国立情報学研究所 企画推進本部広報普及チーム (担当：小野・早川)

電話：03-4212-2135 FAX：03-4212-2150

email： [publicity@nii.ac.jp](mailto:publicity@nii.ac.jp)



図 入門向けエントランス画面 (ホームページ、<http://www.dbjet.jp/>)